

尻屋埼灯台重要文化財指定セレモニー

7月17日海の日に、尻屋埼灯台前において、尻屋埼灯台重要文化財指定セレモニーが開催されました。昨年の12月12日、国の重要文化財（建造物）として、青森県では34件目、東北地方の灯台としては初めての指定となりました。

セレモニー当日は、八戸海上保安部をはじめ、県教育委員会、燈光会、斗南會津会、地元関係者の皆様にお集まりいただき、指定書伝達とテープカット、晴れ渡った青空のもとバルーンリリースでお祝いしました。

尻屋埼灯台は1876年（明治9年）の設置点灯以来、この海域の安全を灯し続けています。今年度からは『灯台活用推進市町村全国協議会』にも加盟し、今後もより一層、尻屋埼灯台を含めた観光振興を進めていけたらと思います。



関係者によるテープカットの様子



国指定書伝達を行う様子



放たれたバルーンと灯台



県指定書を受け取る畑中稔朗村長



国の重要文化財指定を記念して試作された“尻屋埼灯台サイダー”



挨拶をする畑中村長



記念して作られたグッズ



尻屋埼灯台のジオラマ



セレモニーを見届けた寒立馬たち